

野毛山動物園における安全対策

伊原 茂男
(横浜市立野毛山動物園)

飼育作業における安全対策としては、複数人作業やダブルチェック方式の導入、オートロック扉の設置などが最も効果的と思われる。しかし現在の野毛山動物園では、職員数・予算等の面から、前述の対策は実現できていない。ただし飼育作業における安全対策は、動物園運営において最も重要な項目のため、実施可能な範囲内での対策として、当園では下記の取り組みを行っている。

- ① 作業開始・終了時の無線連絡 (対象：特定動物)
- ② 視覚的認知を目的とした門の着色 (対象：特定動物)
- ③ 17:15 の定時無線連絡 (対象：全種)
- ④ 種別標準飼育マニュアルの作成・更新 (対象：全種)
- ⑤ 獣舎点検表に基づいた各動物舎の点検 (対象：全種)
- ⑥ 動物捕獲訓練 (対象：全職員)
- ⑦ 外部講師又は内部講師によるヒヤリハット防止研修 (対象：全職員)
- ⑧ 中堅～ベテラン職員向けのヒヤリハット防止研修 (対象：中堅～ベテラン職員)